

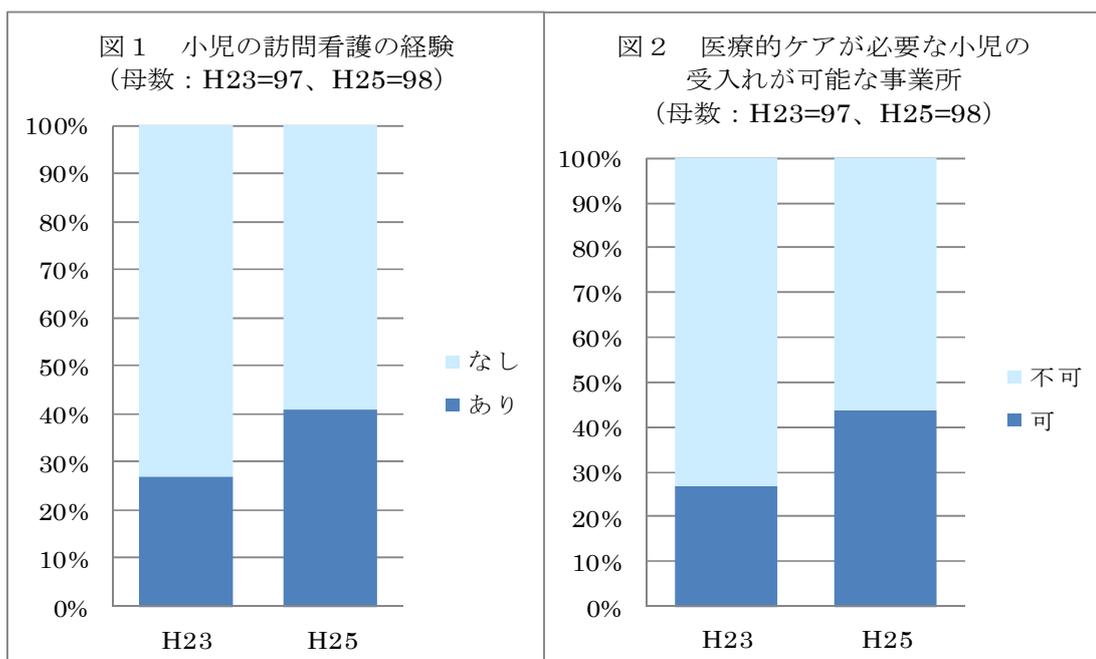
I 調査の概要

- 1 目的：平成 24 年度から実施してきた「医療的ケアを要する子どもの在宅療養支援研修会」の評価及び課題を整理し、今後の事業展開の参考とする。
- 2 実施主体：新潟大学医歯学総合病院総合周産期母子医療センター、新潟県
- 3 実施時期：平成 25 年 11～12 月（平成 25 年 10 月 1 日時点）
- 4 結果の活用：子どもを対象とした訪問看護が可能な事業所の一覧表（対応可能な医療的ケア）は公表し、その他の情報は事業所を特定できない統計情報に加工した上で公表する。
- 5 回収率：86.8%（回収数 98/配布数 113）

II 結果の概要

1 平成 23 年度との比較

- (1) 小児の訪問看護の経験がある事業所の割合が 1 割強増加（図 1）
- (2) 今後対応可能な医療的ケアを回答した事業所も 2 割弱増加（図 2）



2 平成 25 年度の結果

- (1) 今後依頼があれば小児の受入れをしたいとの回答は約 4 割であった。（問 6）
- (2) 受けようと思ったきっかけは、「医療機関からの依頼」が約 3 割と最多、「医療ケアを要する子どもの在宅療養支援研修会の受講」が約 1 割であった。（問 7）
- (3) 受けられない理由としては、「小児看護の経験のある看護師がいない、少ない」が最多、次いで「看護師の人手不足で対応が困難」であった。（問 9）
- (4) 小児の在宅医療についての課題、事業への要望としては、「研修会の確保」が最多、次いで「地域資源・体制の充実」であった。（問 10）

医療的ケアを要する小児への訪問看護へのニーズの高まりがうかがえます。
今後も引き続き、小児ケアの知識等に関する研修会を開催していく予定です。詳細は別途文書でご連絡いたします。よろしくお願いいたします。